

第4次掛川市多文化共生推進プラン パブリックコメント

別紙1

- 1 実施期間 令和8年2月5日 ~ 令和8年3月7日
- 2 意見数 15人 19件
- 3 意見の概要

NO.	項目 (分野)	意見	市の対応
1	全体	掛川市は海外にルーツがある市民が多いため、コミュニケーションに苦勞することが少ない。第4次プランで外国人市民との積極的な関わりを取ろうとしていることが分かる。慣れない土地で頑張る外国人市民の生活がより良くなることを願っている。	いただいた意見を参考にしながら、多文化共創のまちづくりを推進してまいります。
2	全体	少子高齢化や人手不足といった課題に直面する日本において、外国人市民との共生は避けて通れないテーマ。無意識の偏見と差別が障害となっている。違いではなく共通点を認め合うことが大切。今後も継続されることを期待している。	外国人市民を含むすべての市民が地域社会の一員として安心して暮らせるよう、ちがいを越えて多様性を活かす、多文化共創のまちづくりを進めてまいります。
3	全体	小中学校でも多国籍の子どもたちが一緒に過ごす姿を見かける。お互い手を取り合える関係を築ける地域づくりに期待する。	学校や地域で多国籍の子どもたちが安心して学び、交流できる環境整備に努めてまいります。コミュニティの垣根を越えて、互いに支え合える多文化共創のまちづくりを進めてまいります。
4	全体	外国の方が地域に暮らすようになってずいぶん月日が経ったと思う。お互いに理解しあって暮らすことができるよう、今後も多文化共生推進プランに期待する。	地域で外国人市民も安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。今後も外国人市民と日本人市民とが互いに理解し合い、共に支え合う多文化共創のまちづくりを進めてまいります。
5	全体	多文化共生推進プラン賛同。外国人との共生は避けて通れないもの。文化や習慣の違いでぶつかる事は当然。対立や分断、差別からはいい事は生まれない。	おたがいの文化や習慣のちがいを尊重し、対立や分断、差別のない多文化共創のまちづくりを進めてまいります。
6	全体	第3次プランから大筋での変更もなく、目新しさを感じない。ただ、こういったプランが継続されることは素晴らしいことである。今プランがより広く周知されるよう概要版の配布などを要望。	いただいた御意見を踏まえて、やさしい日本語版、多言語版含め概要版を整備してまいります。 市民への情報発信について、効果的に周知ができるよう努めてまいります。
7	全体	多文化共生の考えそのものを反対。日本文化を理解し尊重し、その文化の中で日本人と共に生きたい人だけが規則を守り在留資格を取得すべき。	掛川市は年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、すべての人がお互いのちがいを認め合い、安心して自分らしく暮らせるまちをめざしています。 外国人市民人口が増えるなかで、マナーやルールの違いから生じうるトラブルや孤立など、起こりうる課題解決のために、本プランを展開することが重要だと考えています。すべての市民が自分らしさを尊重されながら安心して暮らせるよう、多文化共創のまちづくりを進めてまいります。
8	全体	多文化共生推進について反対。日本が好きで住みたい方は歓迎だが、働きに来ている方はマナーやルールを知らないことが多い。	外国人市民人口が増えるなかで、マナーやルールの違いから生じうるトラブルや孤立など、起こりうる課題解決のために、本プランを展開することが重要だと考えています。すべての市民が自分らしさを尊重されながら安心して暮らせるよう、多文化共創のまちづくりを進めてまいります。 また、わかりやすい動画等を活用し、生活ルールの周知体制等の強化に努めてまいります。

第4次掛川市多文化共生推進プラン パブリックコメント

別紙1

- 1 実施期間 令和8年2月5日 ~ 令和8年3月7日
- 2 意見数 15人 19件
- 3 意見の概要

NO.	項目 (分野)	意見	市の対応
9	全体	多文化共生を進める前に、生活環境等の具体的な対策を整えるべきだと考える。現状では生活トラブルの問題もあり、不安が大きい。	外国人市民人口が増えるなかで、マナーやルールの違いから生じるトラブルや孤立など、起こりうる課題解決のために、本プランを展開することが重要だと考えています。すべての市民が自分らしさを尊重されながら安心して暮らせるよう、多文化共創のまちづくりを進めてまいります。 また、わかりやすい動画等を活用し、生活ルールの周知体制等の強化に努めてまいります。
10	事業	掛川市では外国籍住民の偏在が見られ、地域ごとの情報発信強化が必要と感じている。日本人にも外国文化や慣習を理解する機会を増やす施策を求めている。	いただいたご意見を参考に、関係部署、機関と連携を強化して、具体的な取り組みについて検討してまいります。市民への情報発信については、地区の状況を踏まえながら、効果的に周知ができるよう努めてまいります。
11	事業	多文化共生にはコミュニティやまちづくりへの参加促進が重要。キーパーソンの発掘や市と企業の連携し、日本語教室等の情報提供が必要と考えている。	いただいたご意見を参考に、関係部署、機関と具体的な取り組みについて検討してまいります。市民への情報発信については、効果的に周知ができるよう努めてまいります。
12	事業	日本語ボランティア養成講座を実施し、架け橋となる人材を育成してほしい。	日本語ボランティア養成講座については、すでに関係機関と連携し実施していますので、「事業の一覧」で明文化しました。
13	事業	多文化共生アンケートを日本人住民にも実施し、現状を正しく把握してほしい。	市民意識調査にも多文化共生に関する質問項目を設けており、日本人市民の皆様を対象とした市民意識調査の結果と、外国人市民等を対象とした多文化共生アンケートの結果を踏まえながら、現状把握に努めてまいります。 今後は、関係機関と協力して日本人住民へのアンケートの在り方を検討するとともに、アンケートに限らず、幅広くご意見を収集できる取組を検討してまいります。
14	事業	地区や自治区などと連携するにあたり、民生委員が外国人住民と積極的にコミュニケーションを取る体制を求める。	民生委員は、外国人を含む地域住民の、福祉に関する困りごとに対して、悩みを聞いたり、関係機関へ繋いだり、地域のよき「相談相手」として活動しています。今後も引き続き見守り支援を行ってまいります。
15	事業	市役所で開催している日本語教室について認知度が低下している。企業向けへのPR強化だけでなく、企業内外国人のための出張日本語教室開催が効果的と考える。	いただいたご意見を参考に、関係部署、機関と具体的な取り組みについて検討してまいります。市民や企業等への情報発信については、効果的に周知ができるよう努めてまいります。
16	事業	既に掛川市内で頑張っている外国人がたくさんいるため、広報等かけがわこの人でのキーパーソン目標2030年3回の前倒し大々的に写真付きで来期に3名掲載してPRできると考える。	いただいたご意見を参考に、関係部署、機関と検討してまいります。
17	事業	若い世代の外国人人口が増えていることを踏まえ、日本語学習の動機づけや就職支援につながるような外国人市民と企業のマッチングサービスを導入してほしい。	いただいたご意見を参考に、関係部署、機関と検討してまいります。

第4次掛川市多文化共生推進プラン パブリックコメント

別紙1

- 1 実施期間 令和8年2月5日 ~ 令和8年3月7日
- 2 意見数 15人 19件
- 3 意見の概要

NO.	項目 (分野)	意見	市の対応
18	事業	多文化共生推進は必要不可欠。そのためには「日本人と外国人との価値観の共有」が必要だが言葉の壁が妨げとなっている。日本語に触れる機会の増加や日本人の無関心の解消を望む。	いただいたご意見に参考に、関係部署、機関と検討してまいります。
19	その他	上記以外にも、今プランについて個別具体的なご意見をいただきました。市民の皆様からいただいたご意見を大切にしながら、多文化共創のまちづくりを進めてまいります。	